

2年生 情報モラル教育：SNS等のトラブル防止に向けて

1月15日（木）、2年生を対象に情報モラル教育を実施しました。近年、SNSを通じて誰もが手軽に情報を発信できるようになった一方で、安易な投稿が自分や他人に深刻な影響を及ぼし、大きなトラブルに発展するケースが社会的な課題となっています。

今回の授業では、以下の3つのポイントを中心に、情報社会における「責任」と「義務」について深く考えました。

1. 投稿が及ぼす影響の理解

不適切な投稿が自分や周囲にどのような不利益をもたらすかを具体的に学習しました。生徒たちは、一度インターネット上に流出した情報は二度と完全に回収することができないというデジタルの特性を再確認しました。

2. 「未来」を守るための意識

SNSでの行動が、自分自身の将来だけでなく、大切な友人の将来にも大きな影響を及ぼす可能性があることに気づきました。目先の「楽しさ」や「ノリ」だけで判断せず、一歩立ち止まって考える重要性を学びました。

3. 具体的な発信ルールの検討

授業の後半では、以下の視点から「具体的にどのようなことに注意して情報発信すべきか」をグループで議論しました。

- ・肖像権の保護（他人の写真を勝手に載せない）
- ・情報の公開性（誰が見ているかわからないという意識）
- ・相手への配慮（その投稿で傷つく人はいないか）

生徒たちは、提示された具体的な事例を通して、インターネットの便利さの裏に潜むリスクを自分事として捉えていました。ご家庭におかれましても、この機会にスマートフォンの使い方やSNSのルールについて、ぜひお子様と話し合ってみてください。

